

ブラックロック・ジャパン、世界初の円社債ETF上場 金利上昇で市場拡大見込む

2026.03.13 19:22



上場通知書を受け取る橋本社長（左、3月13日、東証）

ブラックロック・ジャパンは3月13日、年限1~11年の円建て社債を主な投資対象とする「iシェアーズ高格付け円社債ETF」を東京証券取引所に上場した。円社債特化型のETF(上場投資信託)は世界初。個別銘柄を選別するアクティブ運用により、国債利回りに上乗せ金利(クレジット・スプレッド)を加算したリターン確保を目指す。

同ETFは、NOMURA-BPI事業債 1~11年インデックスをベンチマークとし、個別銘柄の信用・デフォルト・流動性リスクを勘案しながらポートフォリオを構成。組み入れ銘柄の61.3%が「AA格」(2026年1月時点)で、投資後も精緻なモニタリングを継続してデフォルトリスクを回避する。



打鐘する橋本社長（3月13日、東証）

社債投資は、最低取引単位の大きさやクレジット分析、低流動性、事務負担などの課題をはらむ。同投資をETF化したことで、少額から低コストで手軽に社債への分散投資ができるようになる。機関投資家へ向けては、相対的に高いインカム(利息)収益と値動きの安定性を通じたポートフォリオの改善を提案していく。